

令和3年度 施策評価表(令和2年度決算評価)

施策名: 人権尊重・多文化共生
 施策番号: 05 - 01

1 基本情報

施策名	05	人権尊重・多文化共生	展開方向	01	市民一人ひとりの人権と個性を尊重し、多様性を互いに認めあう社会の実現に努めます。
主担当局	総合政策局				

2 目標指標

指標名	方向	目標値 (R4)	実績値						進捗率 (R2)
			H28	H29	H30	R1	R2	R3~R4	
A 市民意識調査の「自分と異なる人も受け入れたい」と回答した割合	↑	90.0 %	75.3	74.2	80.1	81.1	80.6		89.6%
B 市民意識調査の「男は仕事、女は家事・育児」という考えに不同意の割合	↑	80.0 %	69.3	69.4	72.8	70.8	77.2		96.5%
C 審議会等の女性の委員割合	↑	40.0 %	37.3	38.1	37.1	36.6	39.7		99.3%
D 市の課長級以上の女性の管理職割合	↑	15.0 %	8.9	9.6	10.8	11.1	12.2		81.3%
E 語り部事業アンケートにおける「平和の大切さ」「語り継ぐ大切さ」を感じた回答割合	↑	100 %	98.8	98.7	99.4	99.3	100		100%

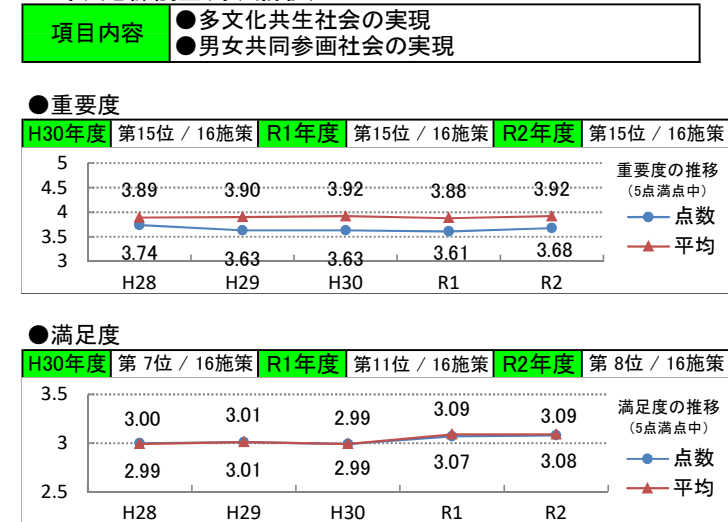
5 担当局評価

これまでの取組の成果と課題(目標に向けての進捗と指標への貢献度)(令和2年度実施内容を記載)	総合戦略
<p>行政が取り組んでいくこと ■多文化共生社会の実現</p> <p>【外国人等が生活しやすくなる環境の整備】 (目的)お互いの生活や文化を理解・尊重し、外国籍住民が安心して快適に生活や行動ができるよう、ともに生きる多文化共生社会の推進に向けた取組を進める。 (成果)①市内行政窓口多言語化を図るため、令和元年5月に電話通訳・テレビ通訳を導入した。(延べ16件) ②日本語教室で学ぶ外国籍住民の日本語能力や国籍が多様化していることから、日本語ボランティア向けに「日本語ボランティアスキルアップ講座」を実施し、指導方法等のスキルアップに取り組んだ。 ③外国籍住民にも分かりやすく情報を発信できるよう、市民を対象に「やさしい日本語講座」を実施(10月27日、12人)するとともに、職員を対象に「やさしい日本語研修(市政課題研修)」を実施した(3月12日、39人)。また、「国際交流のつどい」を実施し、外国人との交流を図った(10月27日、日本人17人、外国人5人)。(目標指標A) ④外国籍住民のニーズを把握するため、12月からメール相談窓口を開設したほか、コロナ禍における緊急雇用対策として、7名の外国籍住民を雇用了。 ⑤⑥(連携強化)各取組を、尼崎市国際交流協会と共催、委託などにより実施したことで、多様な外国籍住民とつながりができ、また日本語ボランティア同士のネットワークづくりにも取り組むことができた。 ⑦多文化共生庁内連携会議を開催し、外国籍住民への就労支援も含め、多文化共生の推進に向けた課題の抽出・意識の共有を図った。(課題)②～⑤引き続き、外国籍住民及び日本人のニーズを把握し、効果的な施策を検討する必要がある。 ⑧差別ビラなど外国籍住民への誹謗中傷が生じており、ヘイトスピーチを許さない、傍観者にならないよう啓発を推進する必要がある。</p> <p>【平和への取組】 (目的)平和の尊さや大切さについて、啓発を行い、人権意識の高揚を図る。 (成果)⑦北朝鮮による日本人拉致問題啓発映画「めぐみ～引き裂かれた家族の30年～」を内閣府、兵庫県、尼崎市の3者共催で実施するとともにパネル展を実施し、北朝鮮拉致問題に関する啓発を行った(12月24日、67人)。 ⑧原爆被害者の会が作成した紙芝居アニメ3部作を尼崎市公式YouTubeに新たに公開し、誰でもいつでも見られるようにした。 ⑨みんなの尼崎大学と協力し、広島で平和活動を行っている講師による講演会及びグループワークをオンライン上でを行い、平和について理解を深めた(10月21日、18人)。 (課題)⑦⑧⑨平和の尊さや大切さへの意識を高めるためには、幅広い世代への啓発を行う必要がある。(目標指標E)</p>	総合戦略 ①
<p>行政が取り組んでいくこと ■男女共同参画社会の実現</p> <p>【性の多様性の尊重と男女共同参画の推進】 (目的)「男女共同参画計画」及び「DV対策基本計画」に基づき、男女共同参画社会づくりを推進する啓発事業等を実施する。 (成果)⑩女性センターテレビエにおいて市民企画講座(ストレス緩和を目的としたアロマハンドジェルづくり・感染への不安軽減も含めた防災)、自分にあう就職先の見つけ方講座のほか、オンラインを活用した「女性と政治参画」(同志社大大学院教授)の講演会を実施するなど、コロナ禍を意識した啓発を行うことができた。(目標指標B・C・D) ⑪性的マイノリティへの理解促進を図るため、性的マイノリティに関する情報や配慮すべき事項等をまとめたサポートブック(職員用・市民用)を作成した。また、職員を対象に当事者4名のパネリストによる座談会形式の研修会(参加者71人)を実施し、啓発を推進した。さらに、性的マイノリティが悩みを共有したり、経験者からアドバイスを得られたり、アライ(性的マイノリティの理解者(なりたい方々))も気軽に参加できる居場所事業を当事者団体と共催で5月からスタートすることができた。(参加者延べ225名)(目標指標A) ⑫性的マイノリティ電話相談を7月から実施し(第4火曜午後5時～8時)、当事者や周りの人への助言や情報提供を行った。(延べ21件) ⑬(連携強化)各取組を、当事者団体と意見や情報交換を行いながら進めてきた。その結果、当事者のネットワークを活かした情報発信力と行政への信頼感が相乗効果を生み出し、多様な年代やセクシュアリティの方々からの利用につながった。 (課題)⑩コロナ禍における女性の現状や、「男女共同参画に関する市民意識調査」(令和2年10月)の結果からも、ケア的役割の多くを女性が担っていること、経済的にも不安定な状況に置かれていることが明らかになっており、男女共同参画の取組を推進していく必要がある。 ⑪⑫性の多様性への理解促進に向けて、広域的な取組を検討するなど、さらなる啓発を推進していく必要がある。</p>	総合戦略 ①・③

3 主要事業一覧

令和3年度 主要事業名	
1	多文化共生社会推進事業(外国人総合相談窓口の設置)
2	
3	
4	
5	
令和2年度 主要事業名	
1	多文化共生社会推進事業
2	
3	
4	
5	
令和元年度(平成31年度) 主要事業名	
1	
2	
3	
4	
5	

4 市民意識調査(市民評価)



6 評価結果

評価と取組方針
<p>・外国籍住民の相談支援については、外国籍住民に必要な情報が届くよう努めるなど、全庁横断的に、外国籍住民が相談しやすい環境整備に注力する。</p> <p>・性の多様性の尊重や男女共同参画の推進に向けては、ジェンダー平等の視点も意識した教育・啓発をあらゆる場面において行う。また、特に子どもへの教育を行うにあたっては、子どもが権利の主体であることを理解した上で、一人ひとりの違いを認め尊重し合えるよう、教育活動全体を通じて取り組んでいく。</p>

令和3年度の取組
<p>【外国人等が生活しやすくなる環境の整備】 ①～⑤外国人総合相談窓口を設置し、SNS(でのつながり)を通じて外国籍住民に協力を得るなどその周知に努めるとともに、外国籍住民の相談支援を通じたニーズ把握を行い、今後の多文化共生施策の検討を行う。また災害時における外国籍住民の支援についても関係部局と連携の上、検討を行う。 ③市民提案制度を活用し、やさしい日本語講座及び外国人交流事業「ワンネス 尼崎」を尼崎市国際交流協会と共催で実施する。事業を通じて日本人の外国人への苦手意識の解消を図るとともに、外国人に尼崎のことを知ってもらい、今後の多文化共生事業に協力・参画してくれる人材発掘に努める。 ⑥ヘイトスピーチを許さないまちを目指し、予防啓発を促進するための取組を検討する。</p> <p>【平和への取組】 ⑦⑧⑨平和の尊さや大切さについて、オンラインを活用するなど幅広い世代への啓発に取り組む。</p> <p>【性の多様性の尊重と男女共同参画の推進】 ⑩令和2年度に実施した「男女共同参画に関する市民意識調査」結果を踏まえ、性の多様性を前提とした、性別にかかわらず誰もが共同参画できることを意識した「第4次男女共同参画計画」を策定する。 ⑪⑫性的マイノリティサポートブックを職員、教職員に周知するとともに、経済団体等市民への周知を進めていく。 また、令和3年4月1日に阪神7市1町全てにおいて「パートナーシップ宣誓制度」が導入されたことから、8自治体で「パートナーシップ宣誓制度の取組に関する協定書」を締結した。締結に基づき、宣誓者の転出時の手続きの簡略化を図るほか、阪神間で連携した取組について検討する。</p>

主要事業の提案につながる項目
<p>【外国人等が生活しやすくなる環境の整備】 ①～⑤外国人総合相談窓口における相談支援等を通じて得た外国籍住民のニーズを踏まえ、必要な施策の構築を図る。</p>

令和3年度 施策評価表(令和2年度決算評価)

施策名: 人権尊重・多文化共生
 施策番号: 05 - 02

1 基本情報

施策名	05	人権尊重・多文化共生	展開方向	02	人権教育や啓発活動を推進し、市民が「学び・気づき・行動する」環境をつくります。
主担当局	総合政策局				

2 目標指標

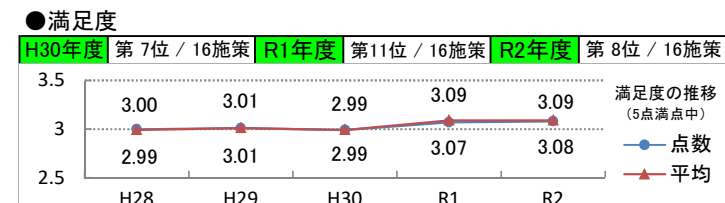
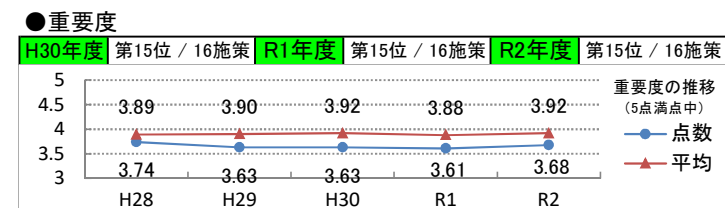
指標名	方向	目標値 (R4)	実績値					進捗率 (R2)
			H28	H29	H30	R1	R2	
A 市民意識調査の「人権を身近な問題として感じている」と回答した割合	↑	60.0 %	43.7	44.7	45.8	45.5	44.0	73.3%
B 市民意識調査の「人権問題がある」「人権問題の可能性がある」と回答した割合	↓	30.0 %	43.8	42.1	41.9	40.3	39.3	76.3%
C 人権啓発推進員の活動回数	↑	684 回	404	416	340	383	322	47.1%
D 啓発事業への参加者数	↑	400 人	301	185	276	282	-	-
E 差別落書き件数	↓	0 件	1	2	1	1	7	-

3 主要事業一覧

令和3年度 主要事業名	
1	
2	
3	
4	
5	
令和2年度 主要事業名	
1	
2	
3	
4	
5	
令和元年度(平成31年度) 主要事業名	
1	地域総合センター整備事業
2	
3	
4	
5	

4 市民意識調査(市民評価)

項目内容	●人権問題の啓発と人権教育の取組 ●人権侵害の防止と被害者への支援
------	--------------------------------------



5 担当局評価

これまでの取組の成果と課題(目標に向けての進捗と指標への貢献度)(令和2年度実施内容を記載)	
行政が取り組んでいくこと	■人権問題の啓発と人権教育の取組 総合戦略 -
<p>【人権文化いきづつまちづくりの推進】</p> <p>(目的) 令和2年3月に制定した、人権尊重の基本理念を示す「人権文化いきづつまちづくり条例」に基づき、人権施策を推進する。</p> <p>(成果) ①条例に基づき人権文化いきづつまちづくり審議会を新たに設置し、「人権文化いきづつまちづくり計画」の策定に取り組んだ。委員には、他の付属機関(障害者、子ども、男女共同参画)の委員を委嘱するなど、施策間連携を意識した構成とした。</p> <p>②「人権文化いきづつまちづくり計画」には、人権について丁寧に記載するとともに、個別の人権問題として、「性的マイノリティ」、「見た目問題」など新たな人権問題や「新型コロナウイルス感染症」についても盛り込んだ。(目標指標A・B)</p> <p>(課題) ②「人権文化いきづつまちづくり計画」を、広く市民に周知し啓発を進める必要がある。また、計画の進捗については、より効果的な人権施策の展開につなげていく必要があるため、取組内容について、現状と課題を明らかにする。</p> <p>【あらゆる場における人権教育・啓発の推進】</p> <p>(目的) 学校、地域、市職員等への人権教育・啓発、研修を実施し、人権問題の正しい理解を深め、人権意識の高揚を図る。</p> <p>(成果) ③(学校) 互いを尊重する関係性を構築し、いじめ防止や正しい性の知識を得られるよう情報モラル教育に取り組んだ。また、こころの教育推進事業のテーマに「人権」を新たに追加したことで、性的マイノリティや障害者など新たな人権課題をテーマに人権講演会を実施することができた。また、小学校高学年を対象にした情報モラル教育推進事業では、ネット上のトラブル事例や正しいスマートフォン等の使用などについて学習することができた。</p> <p>④(地域・事業者) 尼崎人権啓発協会と連携し、講演会や映画上映など全市的な啓発に取り組んだ。地域総合センターは、女性センターと7館合同で交流フェアを実施し、「見た目問題」など新たな課題をテーマにした講演会にも取り組んだ。(目標指標C・D)</p> <p>⑤生涯学習プラザでは、尼崎人権啓発協会との共催による映画上映を実施したほか、市民グループの人権に係る主体的な学びを支援するため、人権教育小集団学習グループのリーダー等を対象に、見識を高める研修に取り組んだ。また、性の多様性に関する学習会、拉致問題啓発映画の上映、「いしあ」を見学し、そこで意見交換する場を設定するなど、専門の関係部局と連携した取組のほか、障害者団体と共催による防災学習会や視覚障害者との生け花講座の実施など、障害者と健常者がともに学ぶインクルージョンを意識した取組を行った。</p> <p>⑥事業者に対しては、LGBT以外の性的マイノリティも含めた「LGBTQ+に対する理解促進」をテーマに実施するなど様々なテーマで研修を実施した。</p> <p>⑦(市職員等) 全所属長を対象に、新型コロナウイルス感染症による外国人への影響や課題に関する人権研修を実施し、職場伝達研修も行った。災害時と同じ3つの壁(言葉、文化、心)について学習することができた。新規採用職員に対しては座学に加え、インターネットモニタリング事業や地域総合センターと連携して、実地やフィールドワークを取り入れた研修を行い、意識の醸成や学びを深めた。地域総合センターでは、職員としての相談スキルや地域課題掘り起こしへの意識向上のため、様々なテーマでの研修に取り組んだ。</p> <p>(課題) ③様々な人権課題について、学校ごとに課題意識を持って、今後も啓発・推進していく。</p> <p>④令和2年度度の監査委員指摘をうけ、現在尼崎人権啓発協会に委託している人権啓発事業について、効果的かつ効率的に実施するため、実施主体のあり方(市か協会か)を整理する必要がある。</p>	
行政が取り組んでいくこと	■人権侵害の防止と被害者への支援 総合戦略 -
<p>【人権に関する相談体制の充実と差別防止への取組】</p> <p>(目的) 相談しやすい効果的な窓口の運用や差別・偏見を許さない風土の醸成を図る。</p> <p>(成果) ⑧女性センターでは、「新型コロナウイルスに伴うこころのケア電話相談」(5~12月)を増設し、コロナ禍における女性の不安や悩みに対応した。(コロナ関連相談件数155件/全相談件数1837件)</p> <p>⑨感染者やその家族、医療従事者等に対する差別や偏見が見られることから、尼崎人権啓発活動地域ネットワーク協議会(尼崎市・神戸地方方法務局尼崎支局・尼崎人権擁護委員協議会で構成)において啓発ポスターを作成した。</p> <p>⑩新型コロナウイルスに関する正確な基礎知識や最新の知見、また感染事例などを共有することにより、人権侵害や差別をしないよう「正しく恐れるための基礎知識と事例集」を作成し、啓発を行った。</p> <p>(課題) ⑧コロナ禍を起因とする相談について、今後とも状況を注視していく必要がある。</p> <p>【施設や情報に関する環境整備】</p> <p>(目的) 誰もが利用しやすい施設等の整備や情報の円滑な取得・利用に向けた環境整備に取り組む。</p> <p>(成果) ⑪公立保育所における外国籍児童の増加に伴い、ポケトーク(翻訳機)の導入を検討するとともに、ごみ分別アプリでは、英語・中国語・韓国語に加え、ベトナム語へ10月に対応した。</p> <p>⑫コロナ禍における障害のある人への情報支援の取組として、遠隔手話サービスを導入するほか、本庁舎と身体障害者福祉センターに点字プリンターや拡大・音声読書器を設置した。</p>	

6 評価結果

令和3年度の取組	
【人権文化いきづつまちづくりの推進】	②計画の内容をイラスト等を用いてわかりやすくまとめた「じんけんまなぶ本」を作成し、学校や人権研修等、あらゆる場を活用して周知と啓発に取り組んでいく。また、計画の効果的な進捗を図るため、どのような取組が行われ、どのような効果があったのか、またどのような課題があるのかについて検証できるよう、施策評価を意識した進捗管理シートの作成や人権文化いきづつまちづくり審議会の運営を行う。
【あらゆる場における人権教育・啓発の推進】	③引き続き、こころの教育推進事業で実施した講演会の講師リストを学校に送付し、各校の課題にあった講演会ができるようにする。また、情報モラル教育推進事業では、対象を中学校にも拡充する。 ④より効果的かつ効率的な人権啓発事業の実施に向け、尼崎人権啓発協会が担うべき役割、すなわち実施主体のあり方について、これまでの実態を含めて整理し、人権文化いきづつまちづくり審議会の意見も聞きながら整理を行う。 ④指定管理者職員が交流しながら学び、連携強化につながる場を多く設定する。 ⑦行政の立場からハンセン病患者の隔離政策による人権侵害の歴史を振り返るなど、多様なテーマで人権研修を実施し、人権行政を推進する職員としての人権感覚の醸成と人権意識の高揚に取り組む。
【人権に関する相談体制の充実と差別防止への取組】	⑧女性センターにおいては、コロナ禍における女性の困難や課題を意識した事業展開を図っていく。 ⑨⑩引き続き、コロナ禍における人権侵害や差別防止にむけた啓発に取り組む。
【施設や情報に関する環境整備】	⑪市内9所の公立保育所にポケトーク(翻訳機)を設置し、保護者との円滑なコミュニケーションに取り組む。 ⑫障害のある人への情報支援の取組として、遠隔手話サービスの本格稼働に取り組むとともに、新たに設置した点字プリンターを活用して、本市から発出する通知情報の点字化を進めていく。
主要事業の提案につながる項目	

評価と取組方針

・人権文化いきづつまちづくり計画に基づき、学校や地域などあらゆる場における人権啓発・教育を進めるにあたっては、人権を「思いやり・やさしさ」という心情主義的な価値観のレベルではなく、人間らしく生きるための大切な条件として「どんな権利を持っているか」という自らの人権について学ぶ(教える)視点を意識する必要がある。

・また、計画の推進にあたっては、人権啓発事業の効果的かつ効率的な実施を目指し、市と協会のそれぞれの強みをいかしたものとすため、今後の役割分担のあり方について整理する。